

令和6年度 桜和祭



SHOWA GAKUIN
SINCE 1940

SHOWA GAKUIN

昭和学院中学校・高等学校

昭和学院 広報 第47号 2024.12.24[火]発行

〒272-0823 千葉県市川市東菅野 2-17-1

TEL 047-323-4171~5 FAX 047-326-5310

<https://www.showa-gkn.ed.jp/js/>

9月21日(土)、22日(日)に開催された今年度の桜和祭は、2日間で5,000人以上が来場し、大盛況のうちに終了した。4月から実行委員長の宇野あかねさん、生徒会長の伊藤優来さんを中心に実行委員会を組織し、生徒を中心に準備を進めてきた。夏休み中には、看板やメインアリーナの背景作成のために、炎天下のなか生徒が登校し、準備に当たる姿も見られた。当日も「響喜乱舞～個性を放て～」というテーマの通り、各団体が工夫を凝らした個性あふれる出し物が披露された。

伊藤記念ホール・メインアリーナでは、吹奏楽部、音楽部、弦楽部、演劇部、ダンス部、バトン部、軽音楽部の公演が行われ、各公演に多くの観覧者が集まった。各教室では、放送部、美術部、書道研究部、自然科学部、地域研究部、ESS部、パソコン部、児童文化・アートクリエイター部、家庭科研究部、華道部、茶道部、ボランティア部、文芸同好会が日々の活動の成果を展示や発表で披露した。3階の吹き抜けスペースでは、生徒会企画「腕相撲大会」「のど自慢コンテスト」が行われ、力自慢・歌自慢の生徒たちが大活躍した。中夜祭では、山口尚之さんによるDJパフォーマンスに始まり、軽音楽部によるライブ、有志団体によるダンスパフォーマンス、未成年の主張などが行われ、参加した生徒たちは大いに盛り上がった。

中学生は縦割りりでチームを組み、1年生から3年生までが協力して、お化け屋敷やゲームなどの出し物を披露した。中央委員会が企画・運営したスタンプラリーも好評だった。高校生はハンバーガーや洋菓子、アイスクリーム等を販売した模擬店、縁日やアトラクションな



▲校外看板

ど、各クラスで工夫を凝らした出し物を披露した。桜和祭を終えて、実行委員長の宇野あかねさんは、「各団体の出し物にさまざまな特色が出ており、生徒だけではなく来校者も楽しめるように工夫がなされていたことは非常に良かったです。私自身も生徒会役員や先生方と話し合いを重ね、結論を出していった過程で成長できた点が多々ありました。初めは自分が実行委員長を務められるか不安でしたが、周囲の方々の支えのおかげで最後までやり切ることができました。この場を借りて皆さんに感謝したいです」と語った。



▲校内看板

伊藤記念ホール・メインアリーナでは、吹奏楽部、音楽部、弦楽部、演劇部、ダンス部、バトン部、軽音楽部の公演が行われ、各公演に多くの観覧者が集まった。各教室では、放送部、美術部、書道研究部、自然科学部、地域研究部、ESS部、パソコン部、児童文化・アートクリエイター部、家庭科研究部、華道部、茶道部、ボランティア部、文芸同好会が日々の活動の成果を展示や発表で披露した。3階の吹き抜けスペースでは、生徒会企画「腕相撲大会」「のど自慢コンテスト」が行われ、力自慢・歌自慢の生徒たちが大活躍した。中夜祭では、山口尚之さんによるDJパフォーマンスに始まり、軽音楽部によるライブ、有志団体によるダンスパフォーマンス、未成年の主張などが行われ、参加した生徒たちは大いに盛り上がった。

中学生は縦割りりでチームを組み、1年生から3年生までが協力して、お化け屋敷やゲームなどの出し物を披露した。中央委員会が企画・運営したスタンプラリーも好評だった。高校生はハンバーガーや洋菓子、アイスクリーム等を販売した模擬店、縁日やアトラクションな



▲展示教室の様子

高2 修学旅行

★ Vietnam 10.28 MON - 11.3 MON 3班編成

ドクさんを囲んで



高校2年TA・AA・SA・GAコースは、10月28日(月)～11月3日(日)の期間ホーチミンで3泊5日の修学旅行を実施した。盛りだくさんな5日間で全ては紹介しきれないが、生徒たちの声をもとに、印象に残ったことを記す。

1日目は、グエン・ドクさんからお話を伺った。「どうしたら戦争のない世の中になるのか。」という課題について考えさせられる時間となった。2日目の午前中に行ったクチトンネルでは、改めてベトナム戦争の悲惨さを体感した。午後のクルーズ体験では、乗船前に現地の珍しいフルーツを食すこともでき、日本では味わえない南国の味に興味津々であった。よりベトナムらしさを感じることができた様子で、楽しかったと話す生徒が多くいた。



3日目は、現地の高校を訪問し、熱烈な歓迎を受けた生徒たちは、充実感のある表情をしていた。午後には大学生とホーチミンの街を巡り、観光を楽しんだ。これまでとはまた違う商業都市としてのホーチミンの顔も覗くことができた。徐々に疲れも見え始めていたが、夜のディナークルーズでそれは吹き飛んでいた。豪華な客船で大興奮し、写真を撮りながら終始笑顔だった。最終日は、朝から孤児院や日系企業訪問、ベトナム伝統の武術や舞踊、楽器演奏体験を各々が希望に合わせて行った。現地の方とコミュニケーションを取り、短い時間ながらも多くのことを吸収できたようだった。午後は日本でも馴染み深いイオンモールでショッピングを楽しみ、大きな袋を抱えて満足気であった。



サイゴン川クルーズ客船

当初不安を抱えていた生徒たちも口々に「楽しかった」と話し、行ってよかったと思える旅になった様だった。この期間で得た経験と楽しかった思い出がいつまでも記憶に残り続けることを願っている。

◀メコン川クルーズ

USA Boston 10.28 MON - 11.6 MON



高校2年IAコース27名は10月28日(月)～8泊10日でボストン語学研修を行った。13時間の長旅を経て肌を刺すような寒さのローガン空港へ到着し、滞在先のホステルではクラスメイト数名とシェアルームを体感した。

一日の行程はタイトで、午前中はTALK ▲ハーバード生と校内散策 International Schoolで他国の生徒たちとレベル別に分かれて授業をうけ、午後はプログラム・リーダーと地下鉄でハーバード大学、マサチューセッツ工科大学のキャンパスを訪れ、現役生とディスカッション、ワークショップ、キャンパスツアー

一等を交えながら親睦を深めた。夕食は学生街で楽しみ、19時半過ぎにホステルに戻った後は、一日の出来事や感想などをシェアする Daily Reviewをプログラム・リーダーと行った。

生徒たちは、日に日に現地での生活に慣れ、本場のハロウィンも満喫した。ファイナル・プレゼンテーションでは、現役ハーバード生から個々にコメントをもらい語学研修を締めくくった。世界で活躍することを目指す生徒たちにとって、この貴重な体験は大きな刺激となったであろう。



▲マサチューセッツ工科大学にて

ENGLAND 7.20 SAT - 8.5 MON 海外語学研修 7.29 MON - 8.6 MON CANADA

7月20日(土)高校1・2年生20名が羽田空港を23時に出発、シンガポールを経由し21日(日)夕方、ロンドンヒースロー空港に到着した。バスで滞在先である世界屈指の名門ケンブリッジ大学の所在地で有名な都市、ケンブリッジに向かった。生徒たちは1954年に設立されたスタジオ・ケンブリッジ語学学校で約2週間を過ごした。



▲Newspaper fashion show

イタリア、トルコ、クロアチア、中国などから来ている生徒と一緒に授業(90分×2)を受け、授業以外の時間は美術館訪問や公園でのスポーツやパンティング(舟遊び)体験などのアクティビティから自分の好きなものを選択し活動した。休日にはウォリック城やロンドンを訪れ、イギリスの歴史を学び美しい景色を楽しんだ。気候も夏とは思えないくらい涼しく快適であった。帰国前日にはほとんどの生徒が「もっとイギリスにいたい!」と名残を惜しんでいた。



▲最終日集合写真

8月4日(日)早朝にケンブリッジを出発し5日(月)夕方帰国した。この17日間での様々な国の人との出会いで、生徒たちは勇気と自信を身につけたようだ。また、異文化に触れたことで日本の良さを見直すという貴重な経験もできた。

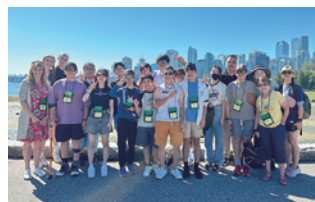


▲バンクーバー国際空港にて

7月29日(月)から、ブリティッシュコロンビア州のラングレーを拠点に、9日間のカナダ研修が行われ、中学2・3年生の11名が参加した。カナダの一般家庭でのホームステイを通じて英語でのコミュニケーション力を養うことを目的としている。平日の午前中は現地の教員の下で英語の授業を受け、午後は地域観光などを通じて英会話を楽しんだ。

例年と比べ参加者が少数であったが、その分、生徒一人ひとりが英語に触れる機会が多く、有意義な時間を過ごすことができた。本研修には、現地の同世代の学生が、授業の補助をする役割を担っている。彼らとの会話を通じて、生徒たちは気軽に英語でのやりとりを楽しみながら、カナダの文化や学生生活についても学ぶことができた。課外活動では、現地の老人ホームで日本文化を紹介する活動も行われた。カナダと日本の国歌を歌ったり、一緒に折り紙をしたりと一生懸命英語で話そうとする姿が見られた。

参加した生徒たちからは、長期間実施を希望する声が聞かれ、充実した研修であったことが伺えた。この経験が彼らの将来を広げる一助になることを願っている。



▲スタンレー・パークにて

令和6年度全国高等学校総合体育大会 結果

女子ハンドボール部

優勝

佐藤 奏吉先生



第75回全国高等学校総合体育大会が8月7日(水)～13日(火)、福岡県久留米アリーナを中心に開催された。昨年の決勝では1点差で2連覇を逃し、日本で一番悔しい思いをし「王座奪還」を誓い選手たちと共に取り組んできた。

2回戦は宮崎学園19-38で勝利、3回戦は高岡向陵20-25で勝利、準々決は勝四天王寺20-27で勝利、準決勝は神戸星城25-28で勝利した。決勝の相手は全国大会4大会連続決勝同一カードとなる白梅学園であり、幾度となく立ちはだかってきた強敵である。この60分の決勝戦では、準備してきた心・技・体・智の全てを發揮し、前半からリードする試合展開ができた。しかし、後半には追いつかれそうな場面もあったが、選手たちは最後まで粘り強く戦い、終了のブザーが鳴った時には19-21で勝利を収め、2年ぶり2回目の優勝を果たした。スタンドからの応援も含めチーム全員で勝ち獲った「王座奪還」である。日頃より支えてくださる保護者、学校関係者、チーム関係者の皆様、そして全力を尽くした選手たちに深く感謝したい。

女子バスケットボール部

第3位

鈴木 親光先生

第77回全国総合体育大会が8月4日(日)～9日(金)、福岡県福岡市総合体育館他で開催された。我々にとって久しぶりの全国大会、そして部員全員が初めての全国大会の舞台であった。本大会は2回戦からの出場で聖カタリナ高校60-92で勝利、3回戦は精華女子高校73-75で勝利、準々決勝は鶴学園高校80-82で勝利、準決勝は京都精華学園高校75-70で惜敗、第3位となった。3回戦以降の対戦校には190cm前後の留学生がおり、試合の前半はスムーズな試合運びをすることができていたが、後半になるにつれて選手たちの疲労度が高く、相手チームに攻め込まれる展開になってしまった。

今大会は全国大会初出場のチームで臨み、選手たちは緊張するなか第3位という結果を残してくれた。今大会で得た経験や反省を次に活かせるようにしてほしい。まずは、ウィンターカップに向けてしっかりと準備をしていきたい。



女子ハンドボール部優勝祝賀会

11月9日[土] 於:伊藤記念ホール



田中市川市長と女子ハンドボール部員

体操競技部

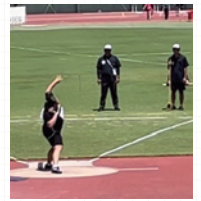
中島 恵美子先生



西田 采永 [高3]
個人総合 **第15位**
種目別跳馬 **第6位**

陸上競技部

石川 毅先生



島田 漣 [高3]
女子砲丸投げ **予選惜敗**

女子ソフトテニス部

高橋 章典先生

個人 **ベスト64**
堂上 [高3] ペア
田中 [高3]



個人 **ベスト64**
戸部 [高3] ペア
平野 [高2]



自転車競技同好会

大坪 正典先生

蜂須賀 太郎 [高3]
スプリント **予選惜敗**



山本 歩輝 [高3]
1kmタイムトライアル **決勝第22位**

水泳部

関谷 直樹先生

関[高1]、吉田[高1]、大住[高2]、加藤[高2]
女子400mメドレーリレー **決勝 第5位**
森田 碧大[高2]
男子200m個人メドレー **決勝 第6位**
加藤[高2]、川俣[高3]、大住[高2]、星[高3]
女子4×200mフリーリレー **決勝 第6位**
大関[高2]、森田[高2]、山根[高1]、小林[高2]
男子400mメドレーリレー **決勝 第8位**



吹奏楽部

牧野 宏哲先生

第30回 日本管楽合奏コンテスト全国大会高校生B部門 **最優秀賞・指揮者賞**
第26回 全日本高等学校吹奏楽大会in横浜 **連盟理事長賞・バンドジャーナル賞・指揮者賞**



車いすテニス

橋 龍平 [高2]

ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権「車いすテニスの部」 **優勝**



8/26[月]～9/6[金]
於:東京、有明テニスの森



BNP Paribas world team cup
[国別対抗戦 日本代表]
団体ジュニア **第3位**
5/8[水]～5/13[月] 於:トルコ

全国中学校体育大会 他 結果

バスケットボール部

第3位

一関 智子先生

8月21日(水)～24日(土)に新潟県長岡市で開催された全国中学校バスケットボール大会に出場し、第3位という成績を収めることができた。この大会には全国から強豪校が集まり、予選リーグから激しい試合が続いたが、チーム一丸となって最後まで諦めずに戦い抜くことができた。準決勝では、最後の瞬間まで白熱した試合展開となり、惜しくも敗れたが、選手一人ひとりが最高のプレーを見せてくれた。

この結果は、日々の練習の成果に加え、チームメンバーや練習相手となってくれた高校女子バスケットボール部員、そして応援して下さった保護者や諸先生方の支えがあってこそのものである。今後も更なる向上を目指してチームとして成長し続け、皆様には引き続き応援していただければ幸いである。



ソフトテニス部

高原 良江先生



女子個人
2回戦惜敗

吉田 [中3] ペア
堂上 [中2]

水泳部

渡辺 基子先生

女子400mフリーリレー
予選惜敗

中野 心美 [中2]
藤田 紗世 [中1]
森田 紗蘭 [中2]
野口 華穂 [中3]
阿部 真怜 [中2]



空手道同好会

三重野 由佳先生



斉藤 那奈 [中2]
女子個人形
ラウンド1 惜敗

体操競技部

中島 恵美子先生

男子個人
2回戦惜敗

大竹 [中3] ペア
篠 [中2]



齋藤 英斗 [中1]

男子個人
ゆか **第6位**
総合 **第25位**



JOCジュニアオリンピックカップ

第43回

ジュニアバドミントン選手権大会

9.22[日]～23[月] 於:岩手県

ジュニア新人の部 女子シングルス

村山 陽香 [中2] 1回戦惜敗



第78回国民スポーツ大会(佐賀県)

ハンドボール (女子)

千葉県メンバー全員が昭和学院 **準優勝**

町澤 凜花 [役員・高3]
関口 華恋 [高3]
荒井 七香 [高3]
杉山 日菜 [高3]
倉持 愛泉 [高3]
加藤 真央 [高3]
中村 真心 [高3]
齋藤 史歩 [高3]
永井 桜莉 [高2]
金澤 夏帆 [高1]・濱口 りお [高1]・竹内 心美 [高1]・佐々木 音杜 [高1]



新体操

千葉県メンバー全員が昭和学院



少年女子
個人+団体
第3位

渋谷 美緒 [高3] 東 愛梨 [高3]
鈴木 梨琉愛 [高3] 佐波 結来 [高2]
梅澤 芽咲 [高1] 板倉 心日菜 [高2]
魚津 凜花 [高2]

水泳 (競泳)



吉田 梨夏 [高1] 女子100m平泳ぎ **第3位** (少年B)
関 咲也子 [高1] 4×100mフリーリレー **第5位** (少年)
大関 伶 [高2]・森田 碧大 [高2] 4×100mメドレーリレー **第5位** (少年)
関 咲也子 [高1]・吉田 梨夏 [高1] 4×100mメドレーリレー **第6位** (少年)
森田 碧大 [高2] 男子200m平泳ぎ **第7位** (少年)

体操競技



少年女子
千葉県チーム
団体 **第2位**
西田 采永 [高3]

女子バスケットボール

初戦惜敗 千葉県メンバーに4名選出

新谷 奏 [高1] 山本 美颯 [高1]
鈴木 さくら [高1] 高橋 優夢 [高1]



ハンドボール(成年男子)



千葉県チーム
第4位
峰岸 勁志郎 [教諭]

サマーイングリッシュプログラム



▲グループ活動の様子

小さなグループに分かれて、ディベートやディスカッションなどの英語を用いたアクティビティに取り組み、自分の意見を英語で表現する力を養った。また、グループ活動に加えて、個々にテーマを選び、最終日には全員が各自でプレゼンテーションを行った。発表内容はどれも想像力に溢れた素晴らしいもので、自信を持って発表する姿が印象的であった。このプログラムを通じて参加者同士の交流が深まり、普段関わる機会の少ない他学年の生徒とも繋がりを持つことができ、英語学習をさらに楽しむ機会となったようだ。

8月26日(月)～29日(木)の4日間、本校において外部のネイティブ講師を招いたサマーイングリッシュプログラムが開催され、中3から高2までの合計24人が参加した。このプログラムは、英語を使用して学ぶことで英語力を向上させることを目的としている。参加者は小さなグループに分かれて、ディベートやディスカッションなどの英語を用いたアクティビティに取り組み、自分の意見を英語で表現する力を養った。また、グループ活動に加えて、個々にテーマを選び、最終日には全員が各自でプレゼンテーションを行った。発表内容はどれも想像力に溢れた素晴らしいもので、自信を持って発表する姿が印象的であった。このプログラムを通じて参加者同士の交流が深まり、普段関わる機会の少ない他学年の生徒とも繋がりを持つことができ、英語学習をさらに楽しむ機会となったようだ。



▲修了証を手に笑顔の生徒たち

スピーチコンテスト

市川市中学校英語発表大会

9月12日(木) 於:全日警ホール

- 中1 1位 三輪 波留乃 ペア
伊藤 悠杜
中2 1位 奥山 美穂
中3 3位 野澤 さとみ

—暗唱の部—



令和6年度千葉県高等学校生徒英語研究発表大会 市川地区大会



- 10月1日(火) 於:千葉県立市川工業高等学校
高1 Reading部門 優勝 石井 聖七
高1 Recitation部門 優勝 渡邊 莉弥
高2・3 Recitation部門 優勝 遠藤 暖久[高2]
全学年 Speech部門 優勝 樋渡 百音[高2] ※全員県大会出場



第75回千葉県高等学校生徒英語研究発表大会

- 10月28日(月) 於:千葉県総合教育センター
高2・3 Recitation部門 優勝 遠藤 暖久[高2]
高1 Recitation部門 4位 渡邊 莉弥[高1]
高1 Reading部門 5位 石井 聖七[高1]

●尚、遠藤さんは昨年 高1 Reading部門でも優勝をしており、同一生徒が2年連続で県大会で優勝するのは本校初の快挙である。

芸術鑑賞会



▲舞浜アンフィシアターにて

高校生は11月14日(木)に劇団四季の「アナと雪の女王」を鑑賞した。特に人気の高いディズニー作品であり、鑑賞前から生徒たちの期待を集めていた。エルサが氷の宮殿を築く壮大な場面では感嘆の声があがり、第2幕で行われたオーケストラと観客との掛け合いにも積極的に参加し、舞台の世界観に没入していた。

中学生は、11月27日(水)に劇団四季の「美女と野獣」を鑑賞した。教員の作成した予告動画で登場人物や人物相関を事前に学び、当日は、物語の展開に興奮し友人と熱心に語り合う姿も見られた。特に初めてミュージカルを観劇したという生徒からは、歌声の迫力に感動したという声が聞かれた。

芸術鑑賞会を通して、生徒たちは舞台芸術の魅力を再認識し、音楽や物語の世界へ深く入り込む貴重な経験をすることができた。今後も、様々な芸術作品に触れることで感性を豊かにしていってほしい。



▲JR東日本四季劇場[春](高校)

中2 キャリア教育



10月30日(水)、中学2年生がキャリア教育の一環で事業所訪問を行なった。普段の行動を見直し現場で働く方の考えを聞くことで、総合的な学習の《企業探究》や《研究活動》に活かすことを目的としている。

▲エイピーピー・ジャパン株式会社にて 事前に訪問先を調べ挨拶やマナーを学び、千葉県と東京都内23か所の事業所に赴いた。

生徒たちは緊張しながらも自分たちで受付や取材を行った。事業所の方々と触れ合うことで、働くことの具体的なイメージを持つことができたようだ。裁判見学や人力車体験など、各事業



▲一般社団法人日本音楽著作権協会にて

所の協力により貴重な体験を得ることができた。訪問後のアンケートでは、「進路を考える良い機会になった」「現地では知らないことが沢山あった」という声が多く、生徒たちが大きな成長を遂げた様子がうかがえた。



▲新家敷(市川大野梨園)にて

中学校 合唱コンクール

11月13日(水)、伊藤記念ホールにて中学校合唱コンクールが実施された。10月28日(月)から準備が始まり、校内には各クラスの歌声が響き渡るようになった。練習の初めは「ホールでしっかり響くだろうか」と不安な声も聞かれたが、本番が近づくにつれてどのクラスも自信に満ちた歌声へと変わり、期待感が高まった。当日は、中央委員、行事推進委員、風紀委員や放送部員の生徒が中心となり、開会式から閉会式まで3年生が主体となって運営を行った。



▲ブラボー賞 3年2組 ♪正解



▲最優秀賞 1年3組 ♪COSMOS

各クラスの素晴らしい歌声はもちろん、運営を支えた代表生徒たちの努力も光り、感動的なコンクールとなった。全員の頑張りに拍手を贈りたい一日であった。

奨学会だより

文化講演会

「未来を担う君たちへ」



▲講演される野依先生

11月16日(土)午前10時より、メインアリーナにおいて奨学会文化講演会が開催された。講師は化学者、野依良治先生(2001年ノーベル化学賞受賞者、名古屋大学特別教授)である。会場には保護者そして中1から高2の生徒が集合し、高3は教室とオンラインで結んでの参加となった。この日のために奨学会文化教養部は夏から準備を進めてきた。いよいよ本番である。

野依先生が登場されると会場から大きな拍手が起きた。山本校長の開会の言葉に続き、司会の林奨学会会長から講師の紹介がされた。今回の講演会は2部構成である。第1部は野依先生による講演会「将来を担う君たちへ」、第2部は質疑応答・意見交換である。

第1部の講演会は約1時間であった。野依先生は演題の前に立つと資料をお使いになりながら手際よく講演を進められた。まずご自身のお生まれになった頃のこと、時代について。そして化学との出会い、ノーベル賞受賞となった研究テーマについてのお話。講演会の参加者が中学1年から保護者までと年齢層が幅広く、お話するにも難しい面があったと思うが、そこは配慮されながら進めていらした。「中学生にはちょっと難しいかもしれませんが」と前置きされると心に優しさを感じた。

英語の世紀に生きる私たちが、「英語は『道具』日本語は『精神』である」という言葉や「知の創造は『母語』に基づく思考過程から生まれる」という言葉には驚かされた。日本語を母語とする我々は、カタカナ言葉ではなく美



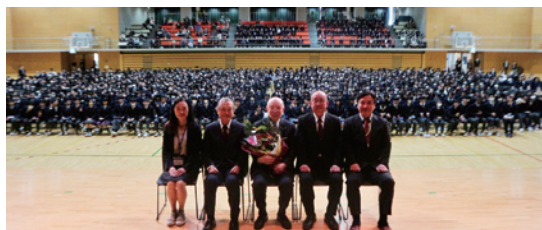
▲文化講演会の様子

しい言葉がたくさんある日本語を大切にしなければならない。先生は、若い人達に対して強いメッセージを与えてくれた。

第2部は質疑応答・意見交換である。まず対面する生徒の中から2名の高校生が手を挙げた。また、生徒は全員iPadを持参し講演中からチャットで質問を受け付けると、210件もの質問が寄せられた。例えば「異に出会う、とありますが野依先生はどのような異に出会い、どのような気づきがあったのですか」という生徒の質問に対し先生は丁寧にお答えになっていた。その中で印象に残ったのは「若い時に出会った友人を大切にすること」というものだ。保護者からもチャットで40件ほどの保護者目線の質問が集まった。あっという間に2時間が経過した。山本校長よりお礼の言葉、続いて野依先生から講演の感想を頂き、生徒会長から花束贈呈、最後に全体で記念写真を撮り閉会となった。

講演会とは別に、午後1時間ほどSAコースと野依先生の座談会の場が設けられた。後日、先生からメッセージが届いた。その中に「年齢差が大きくてやや苦勞しましたが、少しでも共感してくれれば何よりも嬉しいことです。理科を学ぶ意欲のある80数名の生徒とも親しく話すことができました。意欲ある生徒諸君に接し我が国の将来にやや明るさを感じています。」

講演を聞いた人たちの今後の人生のヒントとなることを期待したい。



▲野依先生を囲んで記念撮影

私学振興大会



▲参加された理事の皆さま・教職員

10月12日(土)に第21回千葉県私学振興大会～私学教育を考える集い～が幕張メッセ国際会議場で開催され、奨学会の理事および教職員の総勢49名が出席をしました。千葉県内の私学の保護者、教職員の参加によるこのイベントは、保護者の経済的負担軽減のための支援と私立学校の経済的経費に対する財政支援の拡充のため、県に補助金の継続・拡充を要望するため毎年10月に開催されています。

大会では、昨今の私学を取り巻く情勢の中で少子化により募集定員の充足の困難さや光熱費などの高騰などによる厳しい経営環境や、保護者の所得により就学支援金、授業料減免の支給額が区分けされて、公私間の保護者負担格差が大きいことなどが訴えられました。続いて全国大会で活躍し優秀な成績を収めた千葉県私立高校の選手の紹介がありました。本校からは全国選抜新体操大会、全日本新体操選手権大会とともに優勝と輝かしい成果を上げた新体操部の生徒のみなさんが紹介されました。最後に子育てや教育への支援は、未来への投資として社会全体が力を注ぐものであり、そのための支援の拡充することなどの大会決議が採択され、閉幕となりました。



▲紹介された新体操部員

桜和祭への協力



▲ワークショップ

9月21日(土)、22日(日)に桜和祭が開催され、総務部では一般公開日に昨年好評だった〈ミサンガづくり〉のワークショップを行い、在校生や一般の来場者など多くの方に楽しんで頂きました。母姉部ではバザーを2日間開催し、保護者の皆様にご提供頂いた品物を販売しました。準備期間を含め母姉部の皆様の協力のもと、多くの方が来場され会場は常に活気溢れるものとなりました。また、制服リサイクル品回収、受付、場内、案内などを各部で分担し、奨学会全体で桜和祭に協力しました。



▲バザー会場の様子

制服リサイクル

過日は多くの皆様に制服などのリユース品をご提供いただき、11月16日(土)の文化講演会後の放課後に、リユース品の販売を行うことができました。おかげさまで当日は多くの方にご来場いただき、売上金は総額で、44,320円になりました。売上金については教育設備費などに活用させていただきます。皆様のご理解とご協力で深く感謝申し上げます。



▲人で賑わう販売会場